第53回 全国ミニバスケットボール大会 出場報告書

平田エンジェルス 監督 大鶴 孝

平田エンジェル創部5年目にして初めて県大会で優勝できて第53回全国ミニバスケットボール大会に出場することが出来ました。

形式が交歓大会となって、二日間で 3 試合しかなく頂点を決めるわけではなかったけど 一勝でもできればと楽しんで来ようと最初は思っていました。周りの応援していただいた 方々からも楽しんで雰囲気を味わっておいで! と応援いただいていました。

が、皆さん、LIVEで見てるからとか結果を楽しみしてるから!と言われるため、これは 頑張らねばと子供たちと目標を変えました!「思いっきり楽しく自分たちがゲームを作り、 そして勝ちに行こう!」 ・・・・・ 結果は残念ながら全敗でした!

自チームは全国レベルでいうと小柄な方で高さに振り回されたのもありますが、まずは あの雰囲気に緊張しない選手は居ないであろう。

初戦は硬さからイージーシュートミスがたくさんあり初戦は勿体なかった。でも、最後の試合は広島のオール関西決勝で 1 点差で負けた強豪チーム。最後まで食らいつきあと一歩のところまで追いつめたが時すでに遅し。だが、これだけの試合が出来るならとベンチ的には大満足でした。また、二日間で MC を担当された方と審判をされた方から、いいチームですね。背丈はないけど一生懸命プレーする姿は僕は大好きです。応援していますよ!と言ってくださったことがすごく素直に嬉しかったし、この子たちを誇らしく感じました。そして、選手たちもとてもいい経験をさせていただけたと思います。これからのバスケ人生に少なからずこの経験が影響を与えてくれてるでしょう。また、指導者としてもこれは大きな経験であり、またこれからのチーム作りに新たなチーム改革をするきっかけとなったと思います。

悔やまれるのは、何より全国が決まってさあ、これから弱いところを修正して練習していこう!と話していた矢先に岩国市の自粛。2月20日まで練習できず、ボールも触れずで勘が鈍ったのも否めませんでした。そこから大会まで数試合しかチャンスもなく元の状態に戻すことは出来ませんでした。そういう環境にあるチームもあったかとは思いますがせっかくのチャンスで思いっきりプレーさせてあげたかったことが後悔しかありません。この悔しさは次の新6年、新5年生に伝わっているようです。また、これから精進して初勝利を掴むべく前へ進みだしたところです。これからもコロナという未曽有の世界に迷い込みもがきながらが続くのでしょうけど、そんな中でも開催いただく連盟の関係者の皆様には感謝しかなく、この度も大変お世話になりました。

そして、様々な方々からエンジェルスに対して応援や励ましのお言葉等かけて頂いた皆様、本当にありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。

- 2日間の結果については以下の通りです。
- 3月28日 エンジェルス 41 vs 45 うめばち MBC (山形県代表) エンジェルス 38 vs 51 輪島レッドイーグルス (石川県代表)
- 3月29日 エンジェルス 39 vs 44 宮内 MBC (愛媛県代表)

第53回 全国ミニバスケットボール大会 出場報告書

平田エンジェルス Cap. 竹下 舞

私たち平田エンジェルスは、今回初めて全国大会に出場することが出来ました。

私たち6年生は、低学年の時からずっと一緒にやってきたメンバーがほとんどで私達の 代で必ず東京に行くことを目標に励んできました。

秋の秋季予選では東部5位とギリギリでの県大会出場となり、とても悔しい思いをしたのでそこからみんなでこれではだめだと意識を変えていきました。コートで声を出すこと、ディフェンスを頑張ることを徹底して実行し、県大会では決勝まですべて接戦でしたが最後まで勝ち抜き全国大会の切符を手にすることが出来ました。

初めての代々木競技場のコートはとても広かったです。相手チームもすごく強そうに 見えて緊張しましたが泣いても笑ってもこれが私たちの最後の大会で、悔いのないように 全力で戦おうと話していたのでみんな強い気持ちをもって挑みました。

スピードがあってドライブの上手い選手、背が高くて体幹の強い選手、ジャンプシュートや外角シュートも確実に決めたり、全国レベルは思っていたよりもとても高かったです。

3 試合の結果は全敗となってしまいましたが、最後まで全力で戦い抜けたので後悔はありません。

6年最後の3月までこのメンバーでプレー出来て一生の思い出となるとても貴重な経験が出来ました。これまで熱心にご指導してくださった監督やコーチ、お互いに切磋琢磨してきた他チームの関係者の皆さん、ずっと支えてきてくれた保護者の皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。

